

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○新患及び再来 ●予約のみ ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
総合診療科	川本 徹					○	内科一般 ※当番医: 内科系医師による交替制	副部長
	総診当番医①	○	▲	○	▲			
	総診当番医②	○	○	○	○			
消化器内科	青柳 邦彦		▲	○				副院長
	平川 克哉	○		▲				副院長
	工藤 哲司	▲	○					副院長
	秋吉 大輔	▲					消化管 (食道・胃・小腸・大腸)	
	横手 章人	▲		○	▲			
	吉原 崇正	○			▲			
	内海 謙志	○		▲				
腎臓内科	満生 浩司	▲	○					部長
	中井 健太郎	○	▲					副部長
	宿理 朋哉		▲					
	古原 千明	○	▲					
	石松 由季子			○				腎臓
	山岡 奈央							
	佐藤 克樹							
糖尿病・代謝・内分泌内科	佐々木 伸浩	○		●	○			部長
	井元 博文		▲					
	川本 徹	○		▲	○		糖尿病・代謝・内分泌、生活習慣病	
	於久 真由美	●		○				
	藤平 美佳	○	●	●				
	大村 華	●	○	●				
	中川 瑞穂	▲	●	▲				
循環器内科	向井 靖	○	○	○				部長
	増田 征剛	○			▲			副部長
	松川 龍一	▲		○				
	松浦 広英	○	▲					
	戸伏 優之	▲	○		○			
	本田 修浩	○						
	徳留 正毅	○						循環器
	河合 俊輔	○						
	岡原 有秀				○			
	岡部 浩祐							
	酒見 拓矢							
	生田 拓							
	渡部 優							
高血圧内科	大坪 俊夫	○					高血圧	部長
	河口 知允	○		○				部長
呼吸器内科	増本 駿	▲		○				
	平田 慎治	▲		○				
	長谷川 真紀	○		▲	▲			
	河野 拓	○						
肝臓内科	早田 哲郎	○	○	○				部長
	西澤 新也	○		○				部長
	松元 慶亮							
	宮山 隆志							
血液・腫瘍内科	谷本 一樹	○	○					部長
	平安山 英穂		○					
	河野 邰	○					血液疾患一般	
	次郎丸 高志							
	谷口 信保							
脳神経内科	北山 次郎	○		○				部長
	岡田 韶也		○		○			
	佐原 篤之	○						
	池内 泰仁							
膠原病内科	井上 靖	▲	○	○	○			部長
	田中 淳	○		○				
	才木 知尋							
感染症内科	石丸 敏之	○		○				副院長
	後藤 健志							
	横山 寛士							
外科	中房 祐司	○						院長
	永井 英司		○					副院長
	本山 健太郎	○	▲					部長
	小島 雅之	○		○				部長
	上田 純二	○		○				部長
	井上 重隆	○		○				一般外科
	小倉 康裕	○		○				消化器外科・肝胆脾外科
	梁井 公輔	○	○					乳腺・内分泌外科
	安井 隆晴	○		○				呼吸器外科
	中房 祐樹	○		○				腹腔鏡下・胸腔鏡下手術
	鬼塚 哲	○	○	○	○			腎移植・腎不全外科
	森崎 隆史	○						ERCP・PTCD・EST
	畠井 三四郎							
心臓血管外科	小江 雅弘	○		○				部長
	元松 祐馬	▲		▲				
脳神経外科	継 仁	○		○				部長
	吉岡 翼	▲		○				
	二木 浩	▲	○	▲	▲			
	高木 友博	▲	○	▲	▲			

●休診日 土・日・祝・年末年始 (12/29 ~ 1/3)

※出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

0570-03-1211

福岡赤十字病院 広報誌

福岡赤十字病院 広報誌 Cross Heart 2020.10 秋号 vol.45

病院管理者 【院長】中房祐司 【副院長】青柳邦彦、泊真二、永井英司、石丸敏之、平川克哉、【事務部長】田中秀隆 【看護部長】松永由紀子 2020年10月発行(第45号)福岡赤十字病院企画推進課 TEL:0570-855555 福岡県福岡市南区大楠3丁目1番1号 https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/

Cross Heart

Feature 特集

泌尿器科の紹介

患者さんに寄り添い最新の情報と適切な治療を提供します。

2020.10 秋号

vol.45
Japanese Red Cross Fukuoka Hospital

Information 救急医療体制における理念・基本方針を作成しました。
Introduction 登録医のご紹介
村山循環器科内科
くろかわみちこ小児科クリニック



福岡赤十字病院

病院の理念

信頼と調和に基づく最良の医療
～地域を尊重、世界を視野に～

基本方針

- 質の高い安全な医療
- 救急医療
- 国内外の医療救援活動
- 地域連携
- 教育・研修・研鑽
- 患者・職員満足度の向上

Feature

当院で今、何が起きているか ——
医療・健康・時事 最新の情報をお届けします

診療科紹介 泌尿器科

みなさんは泌尿器科と聞いてどんなことを想像されますか？

性病？ 尿管結石？ 血尿？

これらはもちろん私たち泌尿器科で治療する疾患ですが、全体の一部分でしかありません。今回泌尿器科紹介の機会を頂戴しましたので、少し解説をさせて頂きます。

そもそも泌尿器科とは読んで字のごとく、尿を泌する（尿がしみ出す）臓器を扱う診療科で、臓器としては腎臓や膀胱が代表的なものです。詳しく言うと、腎臓で作られた尿を膀胱まで運ぶ経路にあたる腎孟（じんう）や尿管、膀胱に貯めた尿を体外へ出すときの経路にあたる尿道が純粋な泌尿器となります。

それ以外に、男性の性器にあたる前立腺や精巣（睾丸）、陰茎も私たち泌尿器科が担当しますし、腎臓の頭側にある副腎という小さな臓器も泌尿器科で扱います。

ですので、（男性の）性病も、尿道を扱う（痛いこともある）検査も、尿管結石の治療も私たちが担当します。ただ、地域や病院の規模によって同じ泌尿器科でも来院される患者さんの疾患分布は違ってきます。福岡赤十字病院の泌尿器科では、性病の患者さんは少なく、もっぱら腫瘍（膀胱がん、腎がん、前立腺がんなど）や尿路結石、尿路感染症、排尿障害の患者さんの診療を行っています。

泌尿器科疾患は多岐にわたりますが、ここでは私たちは得意とする疾患群について概要をご紹介します。

前立腺がんや腎がんの手術で使用する手術支援ロボット（da Vinci）

がんの治療

がんの治療は、手術療法、薬物治療（抗がん剤やホルモン治療）、放射線治療が3本柱と言われます。私たちはこれらすべての治療法に最新の情報をもって対応していますが、特に手術には熱意をもってあたっています。

泌尿器科は疾患を手術で治療する外科系診療科なのです。

近年外科手術は、手術で患者さんが被る身体へのダメージを最小限に軽減しようという低侵襲化が進んでおり、2018年には当院でも手術支援ロボット（ダビンチ）を導入し、前立腺がんや腎臓がんの手術は大半をロボット支援手術で行っています。またそれ以外のがんの手術もほとんどを高精細画質の内視鏡手術システムを用いた腹腔鏡手術で行っています。これらの手術は小さな傷で手術を行いますので術後の患者さんの回復が早いことがわかっています。なかには腹部の切開を必要とする手術もありますが、開腹手術もロボットや腹腔鏡による低侵襲手術も経験豊富な技術認定医が責任を持って手術にあたっています。



最新の情報と適切な治療を提供します。 患者さんに寄り添い

尿路結石手術

尿の排泄路（流れる経路）にできる石を尿路結石と言いますが、石がどこで見つかったかで腎結石や尿管結石といった病名となります。これら尿路結石の治療では、経尿道的手術といって、尿道から先端がボールペンの芯ほどの太さの細い内視鏡機器を入れて、尿路内の結石を碎いたり摘出したりする手術を多数実施しています（もちろん麻酔をかけた状態で行うので痛くはありません）。最近では、内視鏡はより細く、画像の解像度はより精細に進歩しています。ほかにも体外衝撃波手術など、あらゆる種類の結石破碎手術に対応しています。結石の位置や大きさや硬さ、尿路感染の合併など、患者さんの状態を総合的に考えて、その方に合った治療を選択するようにしています。尿路結石は残念ながら治療後も繰り返されることが多い疾患です。日帰り手術のように治療日数を少なくすることも大切なことだと思いますが、しっかり結石を除去できて、その後の結石の再発も軽減できるような、適切な治療を提供したいと考えています。



▲尿管結石などの手術で使用する細径尿管鏡

前立腺肥大症

前立腺肥大症により排尿が思うようにできない患者さんのうち、薬の服用で症状が十分にコントロールできない方では、手術をお勧めする場合があります。

前立腺肥大症では、古くから経尿道的前立腺切除術という手術が行われていますが、この手術では手術中・術後の出血と比較的長い期間の尿道にカテーテルを留置することによる苦痛が問題となります。福岡赤十字病院では今年度から従来の手術の欠点を軽減できる最新のレーザー蒸散術を導入しており、出血が少なく、入院期間も短縮され、患者さんの負担が軽くなっています。

今月の表紙



私たち泌尿器科では総勢5名の常勤医で診療にあたっており、診療時間内はもちろん、時間外であっても専門的な緊急処置ができる体制を整えています。

泌尿器科は様々な臓器と多岐にわたる疾患群を担当しますので、必ずしも当院で診断や治療が完遂

しない場合があります。その際にも患者さんの治療がスムーズに進むよう、他院とも連携を取りるようにしています。

私たちにできること、できないことの線引きを曖昧にせず、疾患に関する最新の情報と適切な治療を患者さんに提供できるよう心がけています。

接触式レーザー前立腺蒸散術(CVP)とは？

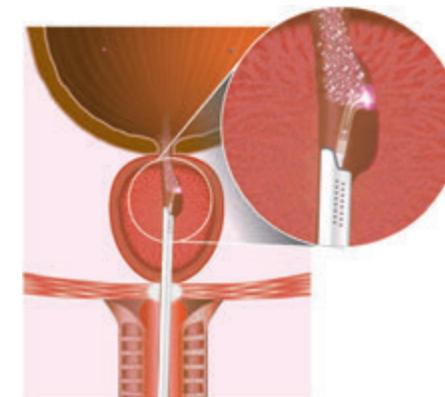
福岡赤十字病院泌尿器科では、これまで患者さんへの侵襲の少ない治療の充実に努めてきました。悪性腫瘍に対しては、経尿道的内視鏡手術、腹腔鏡手術、手術支援ロボット・ダビンチXi等を使用して、精度の高い治療と術後の早期回復を目指しています。今回良性疾患である前立腺肥大症に対して最新の治療機械であるCVPの導入をおこないました。

前立腺肥大症とは、男性の尿道をとりまく前立腺という臓器が大きく肥大し、尿道を圧迫することできまざまな排尿の症状を引き起こす疾患です。全ての男性が罹患するわけではありませんが、50歳以上の男性に多くみられ、加齢とともに徐々に進行していきます。前立腺肥大症では、尿の勢いが悪くなるため、途中で尿が途切れたり、排尿の時間が長くかかるようになります。排尿回数が増えることが多く、夜間に何度もトイレにということが受診のきっかけになる患者さんも多くいらっしゃいます。排尿したあとでも尿が残っているような感覚(残尿感)を感じたりもします。症状が進むと、細菌の感染により高熱が出る急性前立腺炎を引き起こしたり、尿が自分で出せ

なくなる尿閉という状態になることもあります。

前立腺肥大症の診療では、前立腺の大きさをエコー検査で調べたり、尿の勢いを数値化する検査を行ったり、残尿の量を量ったりします。多くの患者さんは、薬の服用で症状を和らげる治療から始めます。前立腺肥大症の治療薬は、尿の勢いを良くして残尿を減らしたり、排尿回数を減らしたりする効能があります。副作用は比較的小なく、多くの患者さんに安心して処方できます。

しかし、前立腺の大きさが特に大きい方や、前立腺の肥大の形が特殊な方、尿閉や急性前立腺炎を経験した方などでは、薬剤の効果があまり期待できないため手術をお勧めしています。今回当院で新規に導入したCVPという前立腺肥大症のレーザー手術機器はこういった症状の重い方で特に有効です。



▲ CVP 手術のレーザー照射時のイメージ図

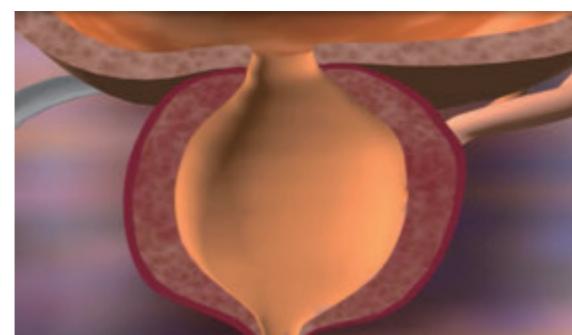
Contact laser Vaporization of the Prostate

CVPはContact laser Vaporization of the Prostateの略で、前立腺組織に光ファイバーを接触させてレーザー光を照射することで、前立腺組織を蒸散させ、尿道の内径を拡張する最新の手術方法です。



従来はTUR-Pという電気メスを使用した経尿道的前立腺切除術という手術が一般的でしたが、TUR-Pは治療効果は高いものの、手術中や術後の出血が多く、手術後に尿道に入れておくカテーテルの留置期間が長く患者さんの苦痛の一因となっていました。

また入院期間も長くなる傾向にあります。



▲ レーザー照射後の拡張した尿道のイメージ図

CVPでは以下のような特徴により、従来の手術の欠点をかなりの部分で改善することができます。

- (1) 手術中から術後まで出血が少ない。
- (2) 従来の手術では難易度の高かった非常に大きな前立腺でも対応可能。
- (3) 術後の痛みが少ない。
- (4) カテーテル留置期間と入院期間が共に短い(最短で4日間の入院)。

CVP手術の導入にあたっては多数の経験を有する施設での研修と指導医の招聘を行い、2020年7月より実際にCVPの手術運用を開始しています。

前立腺肥大症、排尿障害でお困りの方は是非一度外来でご相談ください。



▲ 前立腺肥大症治療用レーザー LEONARDO Fiber Footswitch

救急医療体制における理念・基本方針

この度、当院救急科の理念・基本方針を作成しましたのでお知らせします。



日本赤十字社

福岡赤十字病院救急医療体制における 理念・基本方針

The philosophy and the Basic Policy
of the Emergency Department of the Japanese Red Cross Fukuoka Hospital.

◆ 理念

Concept of the Hospital

信頼と調和に基づく救急医療と災害医療を通じて地域に貢献します。

Contribute to the community through emergency and disaster medical care that is based on Trust and.

◆ 基本方針

Fundamentals

- 01 地域と連携して地域のニーズに応え、各職種と協調し24時間体制で救急医療を実践します。
We practice emergency medical care 24 hours a day to respond to local needs in cooperation with the community and related professionals.
- 02 断らない救急医療に取り組むために、医療レベルや医療サービス向上に努めます。
We strive to improve our medical services in order to accept and treat the emergency medical cases as much as.
- 03 全科オーソンコール体制を敷いて、素早く専門医療に繋ぐことができるように対応します。
We provide the most appropriate and specialized medical care using on-call system for all.
- 04 次世代の救急医療を担う専門職を育てるため、その教育に力を入れます。
We put an emphasis on the education to nurture professionals responsible for the next generation of emergency medical.
- 05 災害医療に対して教育・研修を通して各職種との連携、地域住民への啓発を行います。
For disaster medical care, we facilitate education and training in cooperation with the related professionals both in and out of the hospital and local.

福岡赤十字病院 救急科

Information

Cross Heart 地域とともに! 登録医紹介

当院の基本理念である「信頼と調和に基づく最良の医療～地域を尊重、世界を視野に」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

村山循環器科内科

Q クリニックの診療内容・特色

当院は最近ではめずらしい有床診療所です。有床診療所とはベッド数が19床以下の入院設備がある診療所のこと、20床以上から病院となります。私の祖父が1956年診療所として開院し、前院長の時代には有床診療所となり、現在に至ります。外来診療では、高血圧や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病や不整脈、狭心症の薬物療法、心筋梗塞や脳梗塞の再発予防といった循環器疾患を中心に診療を行っています。入院診療では心不全や肺炎の治療、血圧や血糖値のコントロール、不整脈の管理など他の、脱水症の点滴治療、圧迫骨折の安静目的、急性期を総合病院で加療された後の自宅退院までの全身管理、自宅で介護をされている御家族の休息のためのレスパイト入院など、様々な疾患に対応しています。当院での対応が困難な疾患については、福岡赤十字病院の先生方とも連携させて頂いており、大変お世話になっております。有床診療所は全国で年々減少していますが、総合病院とクリニックの中間的な存在を活かして地域医療に貢献したいと考えます。



院長 村山 貴裕 先生
(日本内科学会認定内科認定医)
(日本循環器学会認定循環器専門医)
住所 815-0041 福岡市南区野間3-3-6
TEL 092-541-0126
診療科目 循環器科・内科
診療時間 平日 9:00~12:00, 14:00~17:00
土曜日 9:00~12:00
休診日 土曜午後、日曜・祝祭日
ホームページ <http://murayama-junkan.com/>

Q 地域の皆様へ一言

高血圧症や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病が厄介なのは、それだけでは症状がほとんど無いからです。健康診断などで指摘されても、「どうもないから」とほったらかしにしてしまいがちですが、毎日ちょっとずつ血管への負担として蓄積されていき(動脈硬化)、ある日突然、狭心症や心筋梗塞、脳卒中、急性大動脈解離といった動脈硬化性疾患を発症します。しかも一度発症してしまうとその後の人生を大きく左右することになり、場合によつては死にいたこともあります。サイレントキラー(静かな殺し屋)と呼ばれる所以です。「どうもないし」「忙しいし」「めんどくさいし」「薬は飲みたくないし」とか言わずに早めに治療を始めましょう。新型コロナウイルス感染症が収束しない状況であり、基礎疾患をきちんと加療しておくことは感染対策としても重要です。

明るく優しいスタッフ達と共に待ちしております。

くろかわみちこ小児科クリニック

当院は2000年4月に開設して今年で20周年目になります。西鉄大橋駅から近くアクセスが良いため、福岡市南区の方はもちろん博多区、中央区などいろいろなところから患者さんがお見えになります。

診療するうえで大切にしていることは、「親の目線に立って診療をすることです。また、診療だけではなく家族も含めてサポートするつもりで診ています。家族の困りごとについてどこに頼つたらいいか分からぬこともあるかと思いますので、そこを手助けしたいと思っています。そのため、立ち入ったことやいろいろなこともぶっちゃけ聞きます(笑)フランクに話して聞きだすことで何に困っているかも分かってくるので、いわゆる「おせっかいな診療」をしています(笑)



病気だけを診るのではなく、家族の困りごとを共有し、社会的ツールも教えるながらサポートする必要もあると思います。そこで、病児保育「たんぽぽティケアルーム」も立ち上げました。一日平均で10名程度の方にご利用いただいております。共働き家庭やシングルの家庭が多くなっていますので、子どもの急な発熱や体調不良のために離職しなくてすむように手を差し伸べていこうと頑張っています。



院長 黒川 美知子 先生
(小児科専門医)
住所 815-0033 福岡市南区大橋1丁目4-24
S.フォンティース大橋2F
TEL 092-557-2555
診療科目 小児科
診療時間 平日 9:00~12:00, 14:30~17:30
火曜日 9:00~12:00, 15:30~17:30
木・土曜日 9:00~12:00
休診日 木・土曜午後、日曜・祝祭日
ホームページ <https://www.kurokawamichiko.com/>

Q 地域の皆様へ一言

今後も、社会と繋がりながら小児科としていろいろな子どもが健やかに育つ活動を続けていきたいと思います。出産前後の子育て支援事業を行って、母親の心のケアも行なながら切れ目ない育児支援のために他科との連携も大切にしています。

私は困ったときに何でも気軽に相談できる雰囲気のクリニックでありたいと思っています。どこに行つたらいいだろうかとか、こんな事聞いていいのだろうかと迷っている方は私が相談に乗ります。お電話もお気軽にかけてください。また、当院で対応が難しい場合でも福岡赤十字病院さんには小児科内に各専門分野のスペシャリストが揃っていますので、各疾患に迅速に対応いただけるので安心してお任せできます。

困ったことや心配なことがあつたら、まずは当院にお越しください。